

二〇〇四年六月議会 一般質問

二〇〇四年六月十七日(木)

(一番目) 日本共産党 藤木くにあき

私は、日本共産党を代表して、市長ならびに教育長に、三つの項目について質問いたします。

質問の第一は、社会の道義的危機を克服する、様々な住民運動への助成についてです。

社会的な模範となるべき政治家による腐敗・不正事件のまん延。三菱自動車のリコール隠ぺいに関わる母子死亡事件。児童虐待や少女買春の横行。長崎県での少女による殺人事件など、今日、社会の道義的危機は深刻な事態となっています。

特に、これらの問題は、子どもたちにもっとも深刻な形で影響をおよぼしており、多くの市民が、不安をもち、心を痛めています。

それだけに、「民主的な社会にふさわしい市民道徳を確立してゆくとりくみ」、「学校や地域など社会の各分野で、子どもたちの声が尊重され、一人の人間として社会に参加し、成長することが保障されるようなとりくみ」、「子どもたちの成長を見守り、支えあうような、様々な草の根からのとりくみ」が、多面的にすすめられることが、つよく求められています。

私たち日本共産党は、四年前の党大会で規約を改正し、「市民道徳と社会的道義をまもり、社会にたいする責任を果たす」ことを党員の最優先の義務と位置づけ、今年一月に開いた党大会では、「社会の道義的な危機を克服する国民的対話と運動を」呼びかける文書を発表しています。

同時に、社会の道義的危機の大もとには、私たちに、ゆとりのない生活を押しつけ、人と人との関係をぎざぎざしたものにしている「弱肉強食の競争主義」があることを指摘し、家族そろっての夕食のだんらんを奪う「長時間労働」をなくし、家庭生活と労働が両立で

きるルールの確立を呼びかけています。

こうしたなか、庄原市議会は、一昨年九月、「庄原市モラル都市宣言」を決議し、社会のモラルの荒廃を克服するため、一、健全な市民道徳が大人社会のどの分野でも確立されるよう市民運動を展開すること。二、「家庭、学校、地域の相互の緊密な連携のもと、一人一人の子どもの成長と発達を大切にしていける教育、社会の一員としてそれにふさわしい道徳を身につける教育にとりくむこと。三、家庭生活、学校生活、社会生活をつうじて、お互いを思いやる豊かな心を育むことと呼びかけています。

そこで、市長ならびに教育長にお尋ねいたします。現在、市内では、PTAや保育所保護者会、様々な子育てサークルなどが、幅広い住民運動を展開しております。

私は、先に述べたような観点から、こうした住民運動を積極的に助成すべきだと考えますが、市長ならびに教育長は、どのようにお考えでしょうか。明確な答

弁を求めるものです。

質問の第二は、イノシシ対策の充実についてです。庄原市では、一九八〇年代からイノシシの被害が広がり始め、今や、中山間地の農業にとって、もっとも深刻な問題となっています。そこで、市長にお尋ねいたします。

一、過去五年間の庄原市のイノシシによる被害額はそれぞれいくらと見込んでいるのか。
二、過去五年間の駆除頭数は、七地区別にそれぞれいくらか。

三、現在、七地区別の捕獲柵の設置数はいくらか。
四、七地区別の駆除頭数のうち捕獲柵によるものは、それぞれいくらか。

五、七地区別のワナ猟の免許取得者と鉄砲の免許取得者はそれぞれ何人おられるのか。

六、県内市のイノシシ捕獲報奨金はそれぞれいくらか。

七、猟友会、駆除班への助成金の増額、捕獲報奨金の引き上げ、ワナ猟免許取得費用の助成、イノシシの生

態と被害防除の方法、イノシシの捕獲方法のコツなどについての周知徹底など、イノシシ対策の抜本的

な充実が必要だと考えますが、市長はどのようなお考えでしょうか。明確な答弁を求めるものです。

質問の第三は、庄原市の奨学金制度の改善、充実についてです。

庄原市では、二〇〇二年度から、経済的な理由により就学することが困難なすべての世帯を対象とした高校、大学などへの奨学金制度を充足させました。そこで、市長ならびに教育長にお尋ねいたします。

一、二〇〇二年度から二〇〇四年度の各当初予算と実際の貸付件数、貸付額はどうなっているのか。新規と

継続に区分して、二〇〇四年度は見込み額で答弁を求めます。

二、奨学金制度の周知徹底のため、中学校、高等学校を通じて、保護者や生徒に直接説明するよう改善すべ

きではないか。

三、奨学金の受付を年一回に限定しているが、その後であっても必要とする世帯は、予算の範囲内で随時申

請できるよう改善すべきではないか。

四、奨学金の貸付要件である所得制限額と貸付額が(旧)日本育英会、現在の独立行政法人、日本学生支援

機構の奨学金の七割と、かなり厳しいものとなっている。

言いかえるなら、経済的に就学がより困難な世帯の方が、少ない奨学金しか借りられないという矛盾し

た状況になっている。

したがって、貸付額については、少なくとも、(旧)育英会の水準に近づけるよう改善すべきではないでしょうか。

市長ならびに教育長の明確な答弁を求め、私の質問といたします。